

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0101	実施計画
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市計画課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

【都市計画マスタープラン掲載重点事業】

線引きや用途地域、街路計画等、都市計画全般についての検討と策定を行う。都市計画決定の手続きの中で、変更案を審議会に付議又は諮問し、都市計画審議会の議決又は意見を求め、都市計画の決定を行う。

<取組み概要>

- ・都市計画法第6条の規定に基づく都市計画基礎調査を実施し、都市計画の変更や決定に必要な資料を収集
- ・課題のある区域の現状を把握し、問題点を洗い出し
- ・都市計画総括図等を作成し、計画的な土地利用を促進
- ・印刷物(総括図 1/10,000、1/25,000 等)を作成
- ・窓口支援システムの内容更新を行い、正確かつ迅速な窓口対応を実現
- ・審議会は議案のある都度、随時開催
- ・平成30年度に予定される第6回市街化区域及び市街化調整区域に関する都市計画の見直しにおける検討

市域全体

的確な都市計画の推進により、市街地の整備が進んでいる。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	都市計画基礎調査の調査項目数	件	0	2	2	2	
	審議会開催数	回	1	1	2	1	
成果指標	整備の完了した区域の面積	ha	556.8	602.1	602.1	602.1	
	秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合	%	91.2		91.0	91.0	
事業費 計			13,035	8,046	6,504	6,357	
指 標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		213	268	270	463
		オ 一般		12,822	7,778	6,234	5,894

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 平成30年度の目標値を達成している。</p> <p>(原因) まちづくりアンケートを地区別に分析すると城山・渋川校区など新しく基盤整備がされた地区は「形成されている」との回答が増加している。一方で、三郷・本地ヶ原校区において「形成されている」との回答が減少しており、店舗等の多い地区では良好な景観が求められていると考えられる。</p>
--------	---	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	<p>区域区分や用途地域の検討を進めます。</p> <p>適正な土地利用の誘導とともに計画的な市街地の整備に努めます。</p>		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

・区域区分及び用途地域の見直しを実施し、愛知県と事前協議を実施。
・適正な土地利用の誘導を図るために用途地域の見直しを実施

街づくり支援専門家派遣事業

[1203]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0103	実施計画	対象
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	街づくり計画作成活動団体	<p>制度の趣旨</p> <p>市民が主体となった都市整備を促進するため、地域の街づくりを行っている団体に専門家を派遣し、専門的な助言や街づくりに関する情報提供などを行うことで、地域の特性や資源を活かした個性ある街づくりにつなげる。</p> <p>具体的な方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 街づくりに取り組む市民団体からの応募内容を審査 派遣決定の場合は、市が委託契約を締結した支援業者を派遣 派遣期間終了後、実績報告を徴収 <p>取り組み経緯・概要</p> <p>H23～25「三郷駅前周辺整備検討会」へ派遣し、毎月1回程度検討会を開催する。 H26～29「三郷駅前周辺まちづくり協議会」へ派遣し、毎月1回以上協議会を開催する。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	専門家派遣団体数	団体	1	1	1	1
	街づくり計画作成活動参加人数	人	31	31	20	30
成果指標	街づくり計画作成数	件	1	1	1	1
	秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合	%	91.2		91.0	91.0
事業費 計			972	972	1,000	972
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	972	972	1,000

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)</p> <p>「街づくり計画作成数」は昨年度実績値を維持しており、「秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合」は横ばいとなっています。</p> <p>(原因)</p> <p>街づくり支援専門家派遣制度が十分に認知されていないため、維持・横ばいとなっていると考えられます。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

都市計画マスタープラン推進事業

[1213]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0104	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市内全域	尾張旭市都市計画マスタープランの確実な進行管理と、社会状況等の変化に基づく内容の適宜見直しを行うことによって、その積極的な推進につなげる。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><取組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係各課へ都市計画マスタープランの進捗状況等を確認 ・進捗状況の集計 ・集計結果に基づき、都市計画マスタープラン庁内推進会議を開催 ・会議検討結果を各課へ通知するとともに、市ホームページを通じて公表
	都市計画マスタープランの確実な進行管理と柔軟な見直しによって、同プランに掲げる都市づくりの理念と目標の実現につながっている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	庁内推進会議開催回数	回	1	2	2	1
成果指標	各種方針の進捗率	%	96.0	96.1	96.0	96.1
	秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合	%	91.2		91.0	91.0
事業費 計						
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般					

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況) 「各種方針の進捗率」は昨年度実績と比べ変動なしとなっています。</p> <p>(原因) 未着手事業はあるものの、進捗率は高い水準を満たしており、向上の余地は小さいと考えられます。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

開発許可等申請事業

[427]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業 コード	31-0105	実施 計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	申請者 (届出者)、愛知県	<p>建築確認申請書等…申請者から建築基準法に関する申請書が提出され次第、建築基準法施行細則及び市町村建築行政事務処理要綱に基づき事務処理をする。</p> <p>特定施設整備計画届出書…届出者から人にやさしい街づくりの推進に関する条例に関する届出書を受理し、愛知県に進達する。</p> <p>事前協議申請書…開発行為等を行おうとする者から、事前に市と協議をするため申請書類を提出してもらい、定められた整備基準に適合しているか審査し、適合していれば協定を締結する。</p> <p>地区計画審査…地区整備計画が定められた区域内で建築行為等をする者から届出書を提出してもらい、条例に適合していれば適合通知書を交付する。</p> <p>開発許可及び建築許可申請書、宅地造成等規制法に基づく申請書、道路位置指定申請書…申請者より書類を受理し、愛知県に進達する。</p> <p>建設リサイクル法に基づく届出書…届出書を受理し、書類を審査して愛知県に進達するとともに、届出者に受領票と届出済ステッカーを交付する。</p> <p>優良宅地、優良住宅認定…申請者から租税特別措置法に基づく優良住宅、優良宅地認定に関する申請書を受理し、認定書を交付する。(県認定の場合は県へ申請書を進達)</p>
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標							
成果指標							
事業費 計		千円					
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般					

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針 (H28年度本部結論) の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

北原山土地区画整理事業

[384]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0107	実施計画	対象
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	北原山町、南原山町、新居町、東大道町、大久手町、北山町の各一部	土地区画整理組合に対して補助金等の資金援助を行うとともに県その他関係機関との調整を行う。 組合事業全般に対して勧告、助言を行い、土地区画整理事業の円滑な推進を図る。 平成12年度 事業開始 平成17年6月 仮換地指定 平成21年度 事業計画の変更認可 平成22年度 総会(役員改選)、総代選挙 平成27年度 総会(役員改選)、総代選挙 平成29年度 実施計画、事業計画の変更認可 平成29年度 事業計画の変更認可
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	平成34年度(予定)換地処分 平成35年度(予定)組合解散
	道路や公園などの公共施設が整備され、快適な生活ができる環境が整っている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	理事会・関係機関等の調整・会議への出席回数	回	115	145	132	132
	事業進捗率(事業費ベース)	%	48	53	58	57
成果指標	区画内の公共用地の整備率(秩序ある街区形成)	%	8	9	10	17
	区域内の4m未満の道路延長	m	3,053	3,024	3,024	3,024
事業費 計			635,750	687,757	631,000	817,700
財源内訳		ア 国	82,487	150,262	231,000	384,350
		イ 県				
		ウ 地方債	50,000	200,000	100,000	100,000
		エ その他				
		オ 一般	503,263	337,495	300,000	333,350

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>(状況)「区画内の公共用地の整備率」は、前年に比べて8ポイント上昇している。</p> <p>(原因)平成29年度は、北原山1号線の整備を実施したため、ポイントが大きく上昇した。</p>
--------	--	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
<p>事業進捗を図るため、引き続き組合の支援を実施します。</p> <p>尾張旭市では、昭和40年代後半から昭和50年代にかけての人口急増期に、多くの都市基盤整備を行いました。</p> <p>都市基盤整備については、それに次ぐ第2のまちづくりの段階を迎えているため、質と経済性に配慮しつつ、次世代に禍根を残さないようなまちづくりを進めます。</p>		
H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
事業進捗を図るため、引き続き組合を支援します。		

北山地区まちづくり支援事業

[1174]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0108	実施計画
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市整備課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

【都市計画マスタープラン掲載重点事業】
 市街化区域の未整備についてモデル地区を設定し、住民主導でまちの問題点や改善点を見つけ出し、意見交換会、ワークショップ等を行い問題点等を協議し、まちづくりの手法を導き出していく。
 平成20年度 意見交換会開催
 平成21年度 タウンウォッチング開催、ワークショップ開催
 平成22年度 まちづくり討論会開催、まちづくりグループ結成

(平成23年度より北山地区まちづくり運営委託事業から北山地区まちづくり支援事業へ名称変更)
 市街化区域未整備地区の北山地区で結成された、将来の都市基盤整備を視野に入れた地元まちづくりグループをソフト面で支援する。
 平成23年度 まちづくりグループ設立、イベント等活動を支援
 平成24年度以降 まちづくりグループ活動支援
 平成25年度 あいちモリコロ基金初期活動助成金を申請、採択される。
 平成28年度～ 狭あい道路路線整備事業によるモデル路線の検討

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	活動支援の回数(会議等の出席回数)	回	15	15	15	15
	活動の参加者(イベント等の参加者数)	人	230	260	220	260
成果指標	住民グループ会員人数	人	9	9	10	9
事業費 計			72	40	70	52
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	72	40	70

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況)「住民グループ会員人数」は、昨年度実績と比べ変化はしていない。 (原因)狭あい道路路線整備について検討しているが、まだ実際に整備された路線がない。今後、狭あい道路路線整備が行われると関心が集まり、会員確保が可能であると考えている。
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

狭あい道路路線整備事業

[1280]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0109	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	・市街化区域内のうち土地区画整理事業が実施又は計画されていない区域内で、幅員4m未満で一定区間(交差点から交差点)に接する土地の地権者等	地域住民による街づくり推進団体が設立され、整備計画を策定する。 街づくり推進団体が関係地権者へ事業説明等を行い、関係地権者全員の同意を得る。 街づくり推進団体が策定した計画を市が承認した後、市が測量・分筆登記・道路整備を行う。 用地を寄附した地権者には奨励金を、支障物件を除去した地権者には助成金を交付する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	平成28年度 尾張旭市街づくり(狭あい道路路線整備)支援要綱の制定 対象路線の検討
	対象路線(交差点から交差点)の道路幅員が、4m以上確保されている。	平成29年度～ 整備計画の策定 関係地権者の同意 同意が得られれば対象路線の整備

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	狭あい道路解消延長(m)(市街化区域)	m		0	100	600	
	推進団体支援件数	件		0	1	0	
成果指標	狭あい道路解消率(市街化区域)	%		0	0.4	2.5	
指標・事業費	事業費 計						
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
オ 一般							

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)「狭あい道路解消率」は昨年度実績と比べ、2.5ポイント上昇している。 (原因)土木管理課所管の狭あい道路拡幅整備事業が順調に進んでおり、成果指標が向上している。今後、本事業の整備が進むことで、さらなる向上が期待できると考えている。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が大きい	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	新規
	良好な市街地の形成を進めるため、狭あい道路の拡幅を推進します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
路線単位で狭あい道路を拡幅するため、対象路線を決定し、路線関係者に説明を進めている。今後、路線関係者の同意を得られれば、狭あい道路の拡幅を推進する。			

公園維持管理事業

事業の位置づけ

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0201	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> ・市管理の公園(都市公園、ちびっ子広場等) ・市民 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園がやすらげる公共空間として市民の憩いの場となるよう市民の要望等に基づき維持管理、整備などを行う。 ・地域住民により公園愛護会が設立され、自主的に公園の維持管理が行われるよう、ワークショップなどを開催し、地域住民の公園に対する愛着心を高める。 公園愛護会は、自治会、町内会、子供会、老人クラブ又は公園周辺の地域住民により構成され、公園内の雑草の除去、清掃、公園愛護思想の普及啓発などの活動を行っています。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><公園の種別> H29.4.1現在</p> <p>都市公園等 81箇所(旭平和墓園を除く。)</p> <p>ちびっ子広場等 51箇所</p> <p>その他(維摩池、大森池) 2箇所</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	m ² 当たりの維持管理事業費(事業費/開設面積) (開設面積=都市公園供用面積-墓園+ちびっ子広場等+維摩池外)	円	197	290	180	198	
	公園に満足している市民割合	%	27.9	30	30	26	
成果指標	公園愛護会活動充実プラン採用団体数	団体	13	9	15	9	
	事業費 計			102,305	150,626	101,343	104,580
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		4,359	6,115	2,200	3,302
		オ 一般		97,946	144,511	99,143	101,278

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)公園に満足している市民割合が低下している。</p> <p>(原因)公園施設の老朽化が原因の一つと思われる。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	<p>公園灯のLED化を推進します。</p> <p>公園愛護会の活動に多くの地域住民が参加していただけるよう、引き続き地域での制度の周知等に努めます。</p> <p>施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。</p> <p>施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断します。</p>		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

公園灯のLED化工事を実施し、緊急性等を勘案し施設の改修・修繕を行った。

都市公園新設事業【～H29】

[419]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0202	実施計画	対象
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	都市公園 市民	旭前城前(区)内街区公園(9箇所) 区画整理事業との調整を図りながらH24年度からワークショップによる実施設計を行い、H28年度までに地区内9公園の整備を完了した。 都市再生整備計画事業に計上している。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	地域住民の憩いの場、やすらぎの場、楽しめる場として、また災害時の一時避難地として公園整備がされている。 地域住民により公園愛護会が設立され、公園が自主的に管理されている。	北原山(区)内街区公園(5箇所)、近隣公園(1箇所) 整備時期はまだ未定であるが、区画整理事業との調整を図りながら整備を進める。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	ワークショップ等への参加者数	人		0		0
成果指標	一人当たり都市公園面積	m ² /人		9.3		9.3
指標・事業費	事業費 計			15,203		
	財源内訳	ア 国	千円	4,800		
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
オ 一般	10,403					

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況・原因)平成28年度以降都市公園の新設は行っていない。新設を行えば、指標は上がる。
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

街区公園改良事業

[1017]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0203	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> ・街区公園近隣住民 ・街区公園 	<p>老朽化した公園の改良工事を行う。</p> <p>工事前に行う基本設計、実施設計において、住民参加によるワークショップを行い、設計から整備まで係わることで公園に対する愛着を深め、完成後も維持管理や公園での自主活動を行う公園愛護会の充実を目指す。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した公園を改良して、よりやすらげる公共空間になっている。 ・公園改良後、地域住民から組織される公園愛護会により、適切に公園の維持管理が行われている。 	<p>平成26年度に下川原公園に複合遊具を設置した。</p> <p>平成31年度に城山公園拡張事業完了後に大塚公園、本地ヶ原公園の改良工事を着手する計画である。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	ワークショップ等への参加住民数	人	0	0	0	0
成果指標	公園に満足している市民割合	%	27.9	30	30	26
	対象公園愛護会会員数	人	0	0	0	0
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 公園に満足している市民割合が低下している。</p> <p>(原因) 公園施設の老朽化が原因の一つと思われる。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

街区公園トイレ設置事業

[1165]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0204	実施計画
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者(市民) 都市公園 	<p>公園のトイレは、必ずしも必要ないが公園利用者の快適性と利便性を高めるため、公共下水道の整備状況等を考慮し計画的に整備する。</p> <p>平成29年4月1日現在 67都市公園中トイレ未整備数 16公園 うち、公共下水道供用開始区域内 10公園</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>〔トイレ未整備公園〕 本地ヶ原南公園、池の端公園、黒石公園、桜ヶ丘公園、 とちの木公園、長池上公園 次の公園は、公共下水道供用開始区域内 東名西公園、藤池公園、狩宿新町第2号公園、本地ヶ原東公園、 白山公園、池上公園、晴丘東公園、広久手公園、白鳳公園、中畑公園</p>
より快適で安全に公園を利用できるようになっている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	トイレ設置済み公園数	箇所	50	51	51	51
成果指標	公園に満足している市民の割合	%	27.9	30	30	26
	トイレ整備率	%	76	76	77	76
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)公園に満足している市民の割合が低下している。 (原因)事業が行えていない。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

城山公園拡張事業

[1255]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0205	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	城山公園 公園利用者	尾張旭市の総合公園である城山公園の区域を拡張し、総合公園として市民の憩いの場、安らぎの場として利活用が図られるようにする。 <拡張面積> A = 1.4ヘクタール <整備施設> 遊具広場、芝生広場、文化スポーツ課所管施設(文化スポーツ課にて対応)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	城山公園の更なる充実を図り、子どもから大人まで、たくさんの方が集い、にぎわいのある公園になっている。	平成25年度 都市計画決定資料作成委託 平成26年度 都市計画決定の変更 平成27年度 平成28年度 公園用地購入(遊具広場)、仮設駐車場整備工事 平成29年度 公園用地購入(文化スポーツ課所管施設) 平成30年度 実施設計、公園用地購入(芝生広場) 平成31年度 公園整備工事

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	拡張工事の整備面積(ha)	ha	0	0.28	0	0	
	購入公園用地(箇所)	箇所	0	1	1	1	
成果指標	拡張工事の整備率(%)	%	0	0	0	0	
	公園用地購入率(%)	%	0	33	100	50	
事業費 計			159	45,017	180,600	178,041	
財源内訳		ア 国		11,300	72,000	75,100	
		イ 県					
		ウ 地方債			27,700	96,000	90,000
		エ その他				10,000	10,000
		オ 一般		159	6,017	2,600	2,941

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	予定どおり公園用地を1箇所購入できたことにより、成果が向上した。
--------	---	----------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	城山公園の成り立ちなどを踏まえ、総合公園としてふさわしい拡張整備を実施します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
総合公園としてふさわしい拡張整備を円滑に進めるため、公園用地を購入した。			

都市景観形成事業

[423]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0301	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	都市景観の向上	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	<p>【都市計画マスタープラン掲載重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月にぎわいフェスタ実施、景観啓発 ・12月上旬から12月25日まで：尾張旭駅前広場、印場駅前広場、旭前駅前広場内でイルミネーション実施 ・12月中：「あさひ冬フェスタ」実施 ・あさひ景観フォトサロン(ホームページ・ロビー展示・絵ハガキ作成) ・屋外広告物の許可事務及び年4回路上広告物パトロールを実施
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><取組みの経緯></p> <p>H23 冬季の各種イベントを統合し、「冬まつり」として実施 H24～ 「あさひ冬フェスタ」として市民参画機会を拡大して実施 H28～ 印場駅前広場、旭前駅前広場にてイルミネーション実施</p>
・良好な景観が保全され新たに創出されている。 ・見た人が、季節感やこころの安らぎを感じている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	「あさひ冬フェスタ」イベント数	個	24	24	25	29
	「あさひ景観フォトサロン」への参加者数	人	15	11	15	11
成果指標	都市景観に満足している市民割合	%	82.9		83.0	81.7
	駅前広場におけるイベントへの参加者数	人	14,000	13,500	14,000	16,215
事業費 計			2,267	2,657	2,970	2,812
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他		200	400	756	974
	オ 一般		2,067	2,257	2,214	1,838

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)「駅前広場におけるイベントへの参加者数」は、H28実績と比較すると20.1%向上しているものの、「都市景観に満足している市民割合」は当初値と比較すると1.3ポイント低下しています。 (原因) 「駅前広場におけるイベントへの参加者数」は、「あさひ冬フェスタ」イベント数の増加に伴うものと考えられます。 「都市景観に満足している市民割合」は、低下しているものの安定して高い水準を満たしているため、振れ幅の範囲内であると考えられます。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0401	実施計画
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	市営住宅の適切な管理	担当	都市整備部 都市計画課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市営住宅(3団地・5棟・71戸)及び市営住宅入居者	<p>施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の保守維持管理を直営で計画的に実施(消防設備は委託管理) 市営住宅の修繕要望の内容の判断と、経年劣化等入居者負担に適さないものについての対応 尾張旭市公営住宅長寿命化計画に基づいた、建物の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を目指した効率的な修繕、改善の実施(屋根の漏水防止工事、壁面補修、団地内施設修繕等)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>入居者管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 入退去者への対応 退去届を受理後、部屋(畳、襖張り替え等)、駐車場の検査、敷金、保証金の返還、退去室内クリーニング 広報及びホームページで入居者を公募し、抽選で入居者決定、賃貸借契約(敷金、保証金納付)入居説明 家賃、駐車場使用料の徴収管理 毎年、収入申告書に基づき翌年度の家賃を決定 口座振替対象者分を各金融機関へ振替依頼、納付書支払者へ納付書を郵送 納入状況を確認後、滞納者へ督促状を郵送し早期完納を促す
良好な住宅環境となり市営住宅の機能が維持されている。 入退去者への迅速な対応が行われ、空き部屋のない状態になっており、家賃及び駐車場使用料が完納されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	・修繕件数、工事件数 ・市営住宅の入居戸数	件(戸)	20(71)	35(71)	20(71)	26(71)
	家賃、駐車場使用料の納付額	円	21,739,000	22,188,840	19,500,000	22,458,430
成果指標	修繕率	%	100	100	100	100
	市営住宅の入居率及び家賃、駐車場使用料の納付率	%	100	100	100	100
事業費 計			21,518	21,856	11,606	12,106
指標・事業費	財源内訳	ア 国	1,107	2,580	3,200	3,034
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他	18,411	19,276	8,406	9,072
		オ 一般	2,000			

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	活動指標は100%を達成しており、この状態を維持していく必要がある。
--------	---	------------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	<p>尾張旭市公営住宅長寿命化計画に基づき、更新コストの削減と事業量の平準化を図るとともに、適切な維持管理に努めます。</p> <p>施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。</p>		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
<p>尾張旭市公営住宅長寿命化計画に基づいた工事を着実に実施し、更新コストの削減と事業量の平準化を図ることができた。また、市営住宅に関する情報の一元化に努め、事業の効率化を進める等、適切な維持管理ができています。</p>			

北山集会施設等維持管理事業

[386]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0901	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 北山集会施設(旧北山区画整理集会所) 先行取得用地 	<ul style="list-style-type: none"> 消防設備保守委託 浄化槽保守委託 施設修繕 先行取得用地草刈等委託
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> 集会所が適正に管理されている 先行取得用地が適正に管理されている 	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	・修繕件数、消防設備及び浄化槽点検回数	件	14	16	16	14
	・草刈施行回数	回	2	2	2	2
成果指標	・修繕率	%	100	100	100	100
	・草刈の要望・苦情回数	回	1	1	0	1
事業費 計			530	551	544	528
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	530	551	544

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況)「修繕率」は100%を維持しており、「草刈の要望」は1回あるものの迅速に対応して理解を得ている。
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	北山集会施設と土地についての在り方を検討し、有効に活用できるよう努めます。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
北山集会施設と土地について、有効に活用できるよう検討をしている。			

道水路用地取得処分事務

[436]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0902	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道水路用地の所有者および関係者	道水路用地の取得及び処分を目的とし、不動産鑑定評価、用地測量、登記(表示及び権利)を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道水路用地の取得処分により、道路の拡幅、排水路改修など整備が図られている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	不動産鑑定評価件数	件	0	0	2	1
	測量、登記件数	件	13	15	5	14
成果指標	道水路用地取得の結果、整備された道水路	件	2	5	3	8
事業費 計			1,002	487	1,950	796
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,002	487	1,950

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)「道水路用地取得の結果、整備された道水路」はH28実績と比較し、3件増加しており、H29計画と比較し、5件多い結果となった。 (原因)寄附等で取得した土地が多かったことが原因であると考えられる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

道路台帳補正事業

[437]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0903	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市道、橋梁 台帳閲覧者	<ol style="list-style-type: none"> 1 年度内に行った道路改良工事及び新設工事を調査 2 道路の形態が変わったもの、新しく道路が作られたものを選定 3 補正委託業者に道路台帳、台帳図の修正を委託 4 市役所窓口にて道路台帳の閲覧を行う
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道路台帳を道路の異動(新設・改良)に応じて適正に加除修正を行い、現況に即した状態に管理することにより、道路に関する照会に対し遺漏のないようにする。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	補正延長(部分改良、修正等を含む)	km	0.9	2	1	1
	増減橋梁数	箇所	0	0	0	0
成果指標	道路台帳の数値誤りによる窓口等のトラブル	件数	0	0	0	0
事業費 計			2,484	2,916	3,000	2,808
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,484	2,916	3,000

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)「道路台帳の数値誤りによる窓口等のトラブル」は、H28実績と同様に0件、H29計画とも同様の0件という結果となった。 (原因)当該年度に変更があった道路に関し、道路台帳の補正ができています。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

境界確認事務

[1195]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0904	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道水路用地の所有者及び関係者	土地境界確認申請の提出を受け、申請地及びその周辺の土地に関する資料などの調査や現地立会いを行い、その結果により作成された境界確定図等の必要書類を確認し、証明を交付する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道水路用地と接する土地との境界を明確にし、後々のトラブルを解消する。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	官民境界確認申請件数	件	224	204	200	239
成果指標	官民境界確認証明書交付件数	件	223	205	200	228
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)「官民境界確認証明書交付件数」はH28実績と比較し23件、11.2%増加しており、H29当初と比較し28件も多い結果となった。 (原因)申請件数の増加について、申請に対し処理していく事務であり、原因は難しいが、近年は増加傾向にある。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

都市再生整備計画実施事業

[1124]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	39-0901	実施計画
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市整備課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	都市再生整備計画 健康都市中央地区(H22~H26) 尾張旭中央地区(H27~H31)	社会資本整備総合交付金を活用するため都市再生整備計画の作成・変更を行い、事業最終年度に事後評価を実施する。 都市再生整備計画(健康都市中央地区)(平成22年度~平成26年度) (平成22年度にまちづくり交付金事業から社会資本総合交付金事業に変更) ・平成22年度 都市再生整備計画に基づき、社会資本整備総合交付金事業に着手。 ・平成27年度 事後評価の目標数値について、フォローアップを実施。 都市再生整備計画(尾張旭中央地区)(平成27年度~平成31年度) ・平成30年度 事後評価方法書の作成。 ・平成31年度 事後評価の実施。次期計画の策定 ・平成32年度 事後評価の目標数値について、フォローアップを実施。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

「みんなで支えあう緑と元気あふれる住みよいまちづくり」を目標に都市再生整備計画を策定・進行管理し、各種事業を実施する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	計画の見直し	回	0	1	1	1
	評価会議開催数	回	0	0	0	0
成果指標	事業進捗率	%	10.4	37.4	60.4	46.5
	計画内「目標を定量化する指標」の達成度	%	26		60	70.7
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)「事業進捗率」は前年と比べ、9.1ポイント上昇している。ただ、平成29年度の計画値と比べると13.9ポイント低い結果になっている。 (原因)5年間の計画で、平成30年度、平成31年度に行う事業が多いため、事業進捗率が大きく上昇していないため。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	当該事業について引き続き国の動向を注視し、情報収集に努めます。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

当該事業について国の動向を注視し、情報収集に努めている。

道路占用事務

[491]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	39-0902	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市が管理する道路(路上、上空、地下)の占有者	<ul style="list-style-type: none"> 道路占用、公共用物使用の許可等事務 <新規、変更> 道路占用等許可申請書の受理 申請書の内容の審査 必要に応じ現場確認および関係者との協議 占用の許可 占用料金の徴収 <継続占用物の占用料徴収> 毎年4月に継続占用物の占用料を徴収 <更新> 占用許可期間終了前に占有者へ連絡 必要に応じ更新手続きをしていただく 市道占有者会議の開催 大口占有者を対象に6月上旬に年間の工事予定等の確認
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
安全な道路管理に支障をきたさないよう、占有物件の実態が把握できている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	占用料調定件数(新規・更新、年間)	件	92	114	80	103
	占用料歳入金額(新規・更新、年間)	円	40,889,349	41,126,386	41,200,000	41,894,128
成果指標	道路占用許可件数(新規、年間)	件	878	885	800	890
事業費 計			176	44		
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		176	44	

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)道路占用許可件数は、昨年度実績と比べ0.6%向上しています。 (原因)大きな変化は見られず、昨年度同様、占有事業者からの申請に対し、審査の上、道路占用を許可した結果である。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

都市計画課庶務事務

[948]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	99-0501	実施計画
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市計画課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	・課の庶務事務、課員	都市計画課の主な庶務事務 文書の収受・管理 庁内外の照会文書の調査・報告のとりまとめ 時間外勤務・出張命令書の整理 課の備品・消耗品の調達・管理 郵便物の発送 公用車の管理 都市計画関係図書の整理 予算決算に係る事務 入札・契約及び台帳整理 行政評価・事務事業評価に係る事務 人事考課に係る事務 都市計画諸証明に係る事務 国土利用計画法に基づく届出に係る事務 公拡法に関する事務 都市計画法第53条の届出に係る事務 駐車場法の届出に係る事務 地価公示、地価調査の閲覧に係る事務 職員互助会に係る事務 用途地域等照会事務 (所要時間: 1日平均5時間×20日×12月) 都市計画関連負担金事務
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	・各種会議及び研修会への出席 ・各種調査への回答・情報交換及び刊行物の収受 ・負担金の支払い
	・課の庶務的な事務が正確かつ円滑に進んでいる。 ・庶務事務の適切なフォローにより、都市計画課職員の進める様々な事務事業が円滑に進んでいる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	庶務事務所要時間	時間	1,200	1,200	1,200	1,200	
成果指標	庶務事務における手続ミスや不具合件数	件	0	0	0	0	
指標・事業費	事業費 計		764	748	827	718	
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県		15	14	14	15
		ウ 地方債					
		エ その他		656	625	529	647
オ 一般	93	109		284	56		

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 なし	(状況) 「庶務事務における手続ミスや不具合件数」は昨年度実績と比べ変動なしとなっています。 (原因) 適切なフォローにより、課の庶務的な事務が正確に進んでいることが原因であると考えられます。
--------	---	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

都市整備課庶務事務

[950]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	99-0502	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務、課員	文書の收受(1,500件*10分 250時間) 文書の発送(500件*10分 83時間) 庁内文書の処理(閲覧・回覧 綴込 450件*10分 75時間) 行政評価の管理(46時間) 出張命令の整理(作成 提出 12回*60分 12時間) 年次休暇等の整理(作成 提出 12回*30分 6時間) 課内の備品、消耗品の調達・管理(12回*60分 12時間) 予算・決算に関する事務(308時間) 書類のコピー(12回*200分 40時間) 財務会計事務(帳票作成 決裁 複写 綴込 500件*10分 84時間) 単独公用車の管理(12回*30分 6時間) 郵便物の発送(12月*45分 9時間) 会議・研修会参加事務(閲覧 決裁 回答 綴込 50件*30分 25時間) まちづくり区画整理協会・県連事務(12回*120分 24時間) 宅地開発・76条許可等事務(600件*5分 50時間) 課へのメール等確認 返信・窓口対応・電話対応等(80時間)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・都市整備課の庶務的な事務が、正確かつ円滑に進んでいる。
 ・庶務事務の適切なフォローにより、課員の進める様々な事務事業が円滑に進んでいる。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	庶務事務所要時間	時間	1,110	1,110	1,110	1,110
成果指標	庶務事務における重大な手続ミスや不具合件数 (庶務事務所要時間の削減時間数(数値は<>))	件	0<10>	0<0>	0	0
	(庶務事務における事務改善件数(数値は<>))	件	<1>	<0>		
事業費 計			2,553	2,225	2,691	2,570
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他	4	2	1	3
		オ 一般	2,549	2,223	2,690	2,567

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 非常に順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況)「庶務事務における重大な手続ミスや不具合件数」は0件で推移している。
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	車両更新の時期に合わせ、作業車両を減車します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

平成30年度に、車両1台を都市計画課へ移管する予定である。

土木管理課庶務事務

[947]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	99-0503	実施計画
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	土木管理課職員、公用車	文書の收受・管理 庁内文書の処理 庁内外の照会文書の調査・報告 郵便物の発送 出張命令書の整理 出勤簿・年次休暇処理簿の整理(工務員) 課の備品・消耗品の調達・管理 公用車の管理 会計事務 予算決算に関する事務 行政評価・事務事業評価に関する事務 各種会議・研修会参加に関する事務 入札・契約事務及び台帳整理 情報公開に関する事務 文書の廃棄処理 ホームページ事務 各種団体負担金に関する事務 土木積算システムに関する事務
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	課の庶務的な事務が正確かつ円滑に進んでいる。 平成23年度より 31-0203 道路関係団体各種負担金 35-0301 河川関係団体各種負担金 39-0903 土木積算事務 を統合

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	庶務事務所要時間	時間	1,800	1,800	1,800	1,800	
成果指標	庶務事務における手続ミスや不具合件数	件	0	0	0	0	
事業費 計			4,785	4,261	3,524	3,516	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他			12	11	14
		オ 一般	千円	4,785	4,249	3,513	3,502

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)「庶務事務における手続ミスや不具合件数」はH28実績と同様に0件、H29計画とも同様に0件という結果だった。 (原因)課全体の庶務文書の取りまとめ、支払い事務等が適切に遂行できていた。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-